

ANDROGYNOS

田中 奈津子

tanaka natsuko

2020年1月10日[金] – 26日[日] 11時 – 19時

月曜日休廊 / 金曜日のみ20時まで開廊

~~アーティスト・トーク 終了しました。~~

~~1月18日[土] 17時 – 18時30分~~

~~聞き手: 真武 真喜子(キュレーター / Operation Table)~~

2007年に京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻を修了した田中奈津子(たなか・なつこ / 福岡・1981~)は、在学中より個展やグループ展などに取り組み、近年では個展「Being series」(ギャラリー白kuro / 大阪・2019)や個展「into Being」(d3 Gallery / 北九州・2019)、「ポートレートモード: 黒宮菜菜・田中奈津子」(2kw Gallery / 滋賀・2019)などを開催。2020年には3月に開催される「VOCA展2020 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」(上野の森美術館・東京)に出品するなど、現在までに精力的に制作・発表活動を続けています。

田中は2017年のギャラリー・パルクでの個展「きょうの壺プレミアム」において、包装紙や広告・カレンダー等を素材に、2016年12月半ばから年越しの一ヶ月に渡って毎日制作した「壺」の絵を展示しました。これは、当初は身近な日常の中で不意に得たイメージを膨らませ、それらをモチーフに絵画・版画のテクニックを組み合わせた絵画制作を続けていた田中にとって、「壺」あるいは「毎日」という制約を手がかりに、それまでの感性や感覚に強く頼る絵画制作ではなく、五感・記憶・経験・感情・体調・身体・道具・時間などなど、多くの要素を素材として自覚し、選択することで絵画に取り組み機会となりました。

また、その後の2018年の春から秋にかけて取り組んだ「Being series」は、田中がアトリエの近くの市民活動センターを借りて制作したもので、「制作の度に画材を運び込み、決められた時間の中で出来ることを探し、時間がきたら筆を止め、また全てをまとめて帰る」を何度も繰り返したものでした。こ周囲の環境や状況という制約を手がかりに、そこから絵画を立ち上げるこの制作は、田中が『画材も、形式も、制作時間も、場所も外部に任せて、私はそこでできることをして、それらが結びついて絵画になればいい。』、『この絵は私だけの選択によって成立したものではなく、環境の中で仕立てられたものだから。』と語るように、自身の絵画制作へのまなざしや絵画への思考を更新する機会となったといえます。

本展は田中の新たな取り組みとなる「ANDROGYNOS(両性具有)」シリーズにより構成されるものです。本シリーズ作品の制作にあたり、田中は現在まで何度もヌードクロッキーに出かけ、男女のモデルを大量に描いています。アトリエではそのクロッキーから線を抽出し、キャンバスに描き写しますが、それは1枚のクロッキーから線を抽出し終わるとキャンバスを回転させ、また新たな線を重ねるというもので、結果、1枚の絵画には何枚(4~20枚ほど)ものクロッキーからの線が重なり、その画面は次第に抽象性を帯びていきます。田中にとってこのプロセスは、そのものが目的ではなく、「見たものを描く」行為を「画面の出来事」へと転換するための「きっかけ」として機能しているように思えます。またそのプロセスを辿るうちに、男:女、具象:抽象、現実:虚構、存在と不在、線と面といった、様々な項が交差せとなった画面が現れることとなり、作品は両義的ながらもひとつの存在:絵画へと自立しはじめます。

「ANDROGYNOS」シリーズに至る近年の田中の取り組みは、いくつかの制約を仮設することで制作の自由を封じるのではなく、それにより自分自身にかかる制約(環境や身体、絵の具の材質、支持体の構造、音や時間など)の存在を確かめ、認めるための手続きとして必要とされたのではないのでしょうか。また、それは同時に「描く」というとてもささやかで脆い自由を見出し、「描くこと」でそれら制約や矛盾を「絵画」に結ぶことができることを知るための契機となったのではないのでしょうか。「ANDROGYNOS」の初期作品群で構成される本展において、田中のこれまで/これからの活動を概観いただけるのでは

なお、会期中には、聞き手に真武真喜子氏(Operation Table キュレーター)をお招きしたアーティスト・トークを行ないます。これにより新作「ANDROGYNOS」についてのお話とともに、近年の田中の作品の変遷やそれぞれの取り組みの関わりを一連で知ることが出来るのではないのでしょうか。

[Statement]

男と女、具象と抽象、現実と虚構、形あるもの
と形のないもの、、、異なる事物を結びつけな
がら変容させていく力が像を結んでいく
—つまりこれは「愛」の絵です。

[C.V]

田中奈津子 Tanaka Natsuko

1981 福岡県北九州市生まれ
2005 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了

個展

2002 WORLD／岡田屋本店ギャラリー(三重)
2004 The golden time in Cambodia／GALLERY ANTENNA(京都)
2005 水辺の人／GALLERY ANTENNA(京都)
2006 孤島群／複眼ギャラリー(大阪)
- ギャラリーDen 58(大阪)
2007 京都市立芸術大学作品展第三会場学内展
2009 私湯／MEM(大阪)
2011 デコレーション／アートスペース虹(京都)
2012 豊かな絵／アートスペース虹(京都)
2013 Fantasy for Adults／アートスペース虹(京都)
2014 わたし壺世界／アートスペース虹(京都)
2016 繋ぐ、結ぶ、続く、絵／アートスペース虹(京都)
2017 きょうの壺 プレミアム／Gallery PARC(京都)
- アブストラクト食う女／ギャラリー島田deux(兵庫)
2018 Open Working "Being series"／京都市岡崎いきいき市民活動センター(京都)
2019 Being series／ギャラリー白(大阪)
- into Being／d3 Gallery(北九州)

グループ展

2003 現代美術インディペンデントCASO展／海岸通ギャラリーCASO(大阪)
2004 ひと展／京都市立芸術大学大ギャラリー
- 日本カメラ祭 in 八木町／旧新聞配達所
2005 山本恵と2人展「花と人」／ボーダレスアートギャラリーNO-MA(滋賀)
- ドローイング5人展「ANOTHER STORY」／GALLERY ANTENNA(京都)
2006 GENSE ART EXHIBITION／建仁寺禅居庵(京都)
2007 作品中／galerie16(京都)
- in my room／FUKUGAN GALLERY(大阪)
- 58号室展／ギャラリーDen 58(大阪)
- ART AWARD TOKYO／行幸地下ギャラリー(東京)
2008 ペインティングの恋人／海岸通ギャラリーCASO、MEM(大阪)
2010 京都オープンスタジオ
2012 「あれから、そして、これから」山本俊夫、藤原康子、田中奈津子／ギャラリーモーニング(京都)
- つくって見たかったもの／CAFÉ PULPO(京都)
2013 「悦ばしき知覚」関口敦仁、山部泰司、松井沙都子、田中奈津子／galerie16(京都)
2014 つくって見たかったもののおみせ／同時代ギャラリー スタジオ1928(京都)
2015 「掲示板アート」片淵綾香、山本恵、田中奈津子／高尾小フェス2015(京都)
2016 「SPECTRA」藤木朗、田中奈津子／ギャラリー恵風(京都)
2018 「壺の中のダイアログ 陶と絵のあいだで」石黒紀子、田中奈津子／ギャラリー恵風(京都)
- 第1回M展／d3ギャラリー(北九州)
2019 「ポートレート モード」黒宮菜菜、田中奈津子／2kw Gallery(滋賀)

受賞

2015 マネックス証券Art in the office 2015審査員特別賞

[List]

[2F]

- 01 Drawing**
2020 紙、アクリル 33×24 cm
- 02 Drawing**
2020 紙、アクリル 33×24 cm
- 03 Drawing**
2020 紙、アクリル 33×24 cm
- 04 Drawing**
2020 紙、アクリル 24×33 cm
- 05 ANDROGYNOS #5**
2020 キャンバス、アクリル 130×160 cm
- 06 ANDROGYNOS #6**
2020 キャンバス、アクリル 160×130 cm
- 07 ANDROGYNOS #7**
2020 キャンバス、アクリル 160×130 cm

[3F]

- 08 Drawing**
2017 紙、水彩、他 40×31 cm
- 09 Drawing**
2017 紙、水彩、他 31×40 cm

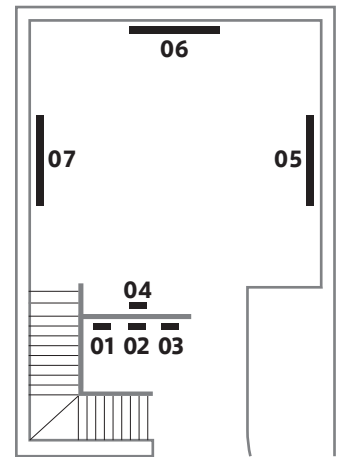
* 田中が2017～2020にヌードクローキーに通い、描いた大量のドローイング群。ご自由にお手にとってご覧ください。

[4F]

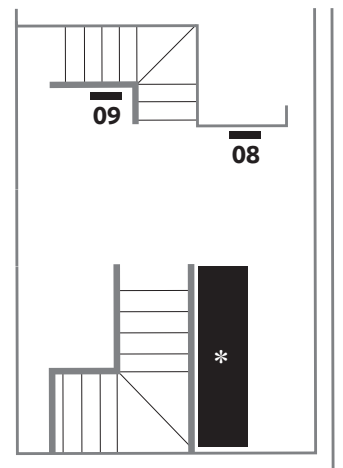
- 10 Drawing**
2017 紙、水彩、他 31×40 cm
- 11 Drawing**
2017 紙、水彩、他 31×40 cm
- 12 ANDROGYNOS #8**
2020 キャンバス、アクリル 160×130 cm
- 13 ANDROGYNOS #9**
2020 キャンバス、アクリル 160×130 cm
- 14 ANDROGYNOS #10**
2020 キャンバス、アクリル 160×130 cm

[MAP]

[2F]



[3F]



[4F]

